

## 秋田県北部の高校におけるいじめ問題についての 再調査結果に関する知事コメント

本日、秋田県子どもの権利擁護委員会から、いじめ問題に対する再調査結果の答申を受けました。

教育委員会の第三者委員会でとりまとめた調査結果よりも、学校側にとっては厳しい内容となったと受け止めています。

勉強にも、スポーツにも、大きく成長を遂げる高校生の時に、こうした事案が発生し、辛い時間を過ごさせてしまったことは、残念としかいいようがありません。

教育委員会に対し、今回の事案を教訓にして、学校現場はもとより教育庁全体で、常に「いじめ問題」については先入観を排し、事案の共有、実態の把握、更には被害生徒の真情に十分に意を用いた適切な措置をとるよう強くお願いしたいと考えています。

平成31年4月25日

秋田県知事 佐竹 敬久